

2019年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：フランス 西部カトリック大学

留学期間：2019年2月～2020年1月

私が留学中に意欲的に取り組んだことは主に3つあります。一つは、人脈を広げることです。つまり、色々な国の友達をたくさん作ることでした。私はフランスに留学しましたが、特にフランス人のみの人脈を広げたいわけではなく、各国の人々と仲良くなるのが目標でした。結論から申し上げますと、色々な国の友達を作るという目標は達成しました。しかし、フランス人の友達は作るのがなかなか難しかったです。フランスにいるのになぜ、と思われる方もいらっしゃるかと思います。実際は、フランスにいたからって、何もしなければフランス人の友達は作ることはできません。私は大学1年生の頃、日本で半数以上が外国人の寮に住んでいたのですが、その外国人に話を聞く限り、みんななかなか日本人の友達はできなかったと言いました。なぜなら、彼らは日本にある外国人のための語学学校に通っていたからです。私も同じで、語学学校は外国人のための学校なので、普通授業中に先生以外のフランス人はいるはずがないのです。私はCIDEFという、西部カトリック大学の中にある語学学校に通っていて、一応フランス人と同じ大学内にはいました。しかし、だからと言ってその大学のフランス人と関わりがあるかどうかと言いますと、ないに等しいです。したがって、大学で行われる国際交流イベント等に参加しない限り、一生フランス人の友達はできないと思っています。そこで私は、秋学期に入ってCIDEFで行われたフランス語を学びたい人と日本語を学びたい人をマッチングさせて、仲良くなりましょうというイベントに参加しました。そこで、西部カトリック大学に通っている17歳のフランス人の女の子とマッチングしました。その子は日本が大好きで、アニメも大好きないわゆるオタクでした。私もそういう系統の話はよく分かるので、すぐに気が合い仲良くなりました。気が付けば毎日大学内で会うようになっていました。その友達経由でまた新しいフランス人の友達ができたりして、人脈を広げていきました。そのフランス人の子は日本語を学び始めたばかりの初心者なので、私たちは主にフランス語で会話をしていました。私もフランス語がペラペラではないので、その時から、その子ともしっかり話したいと思うようになり、フランス語をもっと熱心に取り組み始めました。CIDEFでの授業はもちろん、日常会話でよく使う言葉やスラング、共通の話題の単語をインターネットで調べたりと、授業では教えてくれないこともたくさん調べました。私はその子のおかげで、色々変わった気がします。

そして意欲的に取り組んだ二つ目のことは、海外旅行です。旅行と聞くと、ただの遊びじゃないかと思われる方が多いと思いますが、私にとっての旅行は、その国の文化や経済などを学び、個人旅行として自分の経験値を上げに行くプチ学外研修だと思っています。この1年間で私は、イタリア、(バチカン)、スペイン、ポルトガル、ドイツ、ルクセンブルク、ベルギー、オランダ、イギリス、チェコ、オーストリア、スイス、デンマーク、フィンランド、エストニアの合計15カ国を回りました。留学する前は、ヨーロッパを制覇することを夢見ていましたが、まさに夢のままで終わってしまいました。しかし、たった15カ国でも個人的には満足しています。これらの旅行でたくさんの経験をいただきましたが、こ

ここで話しするととても長くなるので、まだどこかで機会があった時にお話しさせていただきたいと思います。

そして最後の3つ目は、筋トレです。フランス留学と関係なくて申し訳ないのですが、私にとって筋トレはとても頑張って取り組んだうちの一つでした。私は今までスポーツが全くできない運動が大嫌いな人間だったのですが、何を思い立ったのか、フランスに来てからすぐにジムに入会しました。最初は適当にダイエットでもしようかなと気楽に考えていたのですが、通っているうちに、自分は筋肉がつきやすい体質だということに気付き、段々と体が引き締まってくるのを見て感じて、とてもモチベーションが上がり、気付けばインストラクターの方々のような綺麗な体を目指すようになっていました。そして筋トレを始め、今まで全てにおいて自分に自信がない人間だったのですが、自然と自信がつき始め、学校での授業態度はもちろんのこと、普段フランス人と会話するときも気軽に自分の意見も言えるようになり、基本的に内向的だった自分が外向的になり、自分に自信がついたんだなと実感しました。

様々な経験をしたがために留学を決意したのですが、正直、1年間の留学でここまで自分が成長するとは思っていませんでした。留学において様々なサポートをしていただいた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。